

宮崎県えびの市

宮崎県えびの市大字栗下1292番地
担当課:健康保険課
〒889-4292
☎0984-35-1111 FAX0984-35-0401
<http://www.city.ebino.lg.jp/>

本市のデータ

(1)面積	283.00km ² (平21.10.1)		
(2)人口	21,476人 (平22.10.1)		
	年齢3区分別人口(平22.10.1)		
	年少人口(0～14歳)	2,522人 (11.7%)	
	生産年齢人口(15～64歳)	11,462人 (53.4%)	
	老年人口(65歳以上)	7,504人 (34.9%)	
(3)世帯数	9,190世帯 (平22.10.1)	(5)産業構造就業者数(平17.10.1)	
		就業者総数	11,408人
(4)沿革	昭41.11.3 合併 えびの町 (飯野町・加久藤町・真幸町) 昭45.12.1 えびの市(市制施行)	第1次産業	2,954人 (25.89%)
		第2次産業	2,457人 (21.54%)
		第3次産業	5,966人 (52.30%)

本市の概要

えびの市は、宮崎県、鹿児島県、熊本県の三県の境界で宮崎県の西部に位置し、総面積283km²、東西26km、南北22kmで地形は南から北に向かって、だんだん広がる扇の型をしている、人口約2万2千人の田園観光都市です。産業は、えびの米が有名な稲作と西諸牛に代表される畜産の農業が盛んであります。また、市内には見所が数多くありますが、特にえびの高原は、日本で初めて国立公園に指定された霧島屋久国立公園内にあり、四季折々様々な表情を見せる高原特有の雰囲気を楽しめます。また、京町温泉郷は川内川沿いに点在する静かな温泉郷で、泉質の種類が豊富で様々な温泉が楽しめます。最近では、平成22年9月14日に地質学的に見て特別に重要で、美しい地質遺産を持つ自然公園であるという「霧島ジオパーク」として、「日本ジオパーク」に認定を受けたところであり、また、地域の振興を図るため、創設100年を迎える、鉄道の肥薩線(熊本県八代駅～宮崎県真幸駅～鹿児島県隼人駅)沿線自治体の首長が会員、3県が顧問という形で、肥薩線の世界文化遺産登録とD51の復活運行を目指して活動を始めました。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

えびの市では現在、家庭問題や、健康問題等が複層的に重なり、自殺が発生している状況である。全体では、女性より男性が多いが、高齢者では女性が多い傾向になる。これまで、宮崎県全体で、『ひとりで悩まないで誰かに話してみませんか』というキャッチフレーズの下に啓発活動を中心に行ってきたところである。今後は、自殺で亡くなる方を一人でも減らすために、自殺予防を対策の柱にして、設立予定の協議会を拠点に、関係機関・関係団体と連携強化を図りながら推進していくことにしている。

<具体的な取組み>

(1) 総合的な取組の推進及び関係機関の連携

① 自殺対策協議会(仮称)

平成23年8月25日 準備会開催

(2) 自殺予防啓発

- 自殺予防週間(年4回)に看板、のぼり旗、啓発コーナー(市役所、飯野・真幸出張所、市立図書館)設置、ワッペン着用(全職員着用)
- 産業祭等各種行事、健診時に啓発グッズを配布
- 広報紙を通じて、こころの健康についての情報を発信
- 自殺予防啓発用の青Tシャツ着用(主に民生部門)

(3) うつ病対策・こころの健康対策・健康教育

- 高齢者受給者証交付時にうつスクリーニングを実施
- 乳児訪問時に産後うつスクリーニングを実施
- 保健センターで随時健康相談を実施
- 出前講座、地区公民館等で健康教室を実施
- 相談があったとき、随時自死遺族の訪問を実施

(4) 講演会・講座

平成22年度 ○ こころと笑いの講演会(地域福祉推進大会)

講師:精神科医 越智啓子先生

平成23年度 ○ こころ元気講座(全6回)

講師:辰身信子先生、細見潤先生、江藤敏治先生